

私たちは、環境方針を新たに策定し 持続可能な社会の実現に貢献していきます。



2018年に日比谷アメニスグループが策定した「環境宣言」から5年が経過しました。

この間に国内外においては持続可能な社会づくりに向けた、炭素中立・自然再興・循環経済など新たな目標が示され、

またウェルビーイングや地方創生、DXなどもテーマとなっています。

これらの社会的動きに対応し、緑地や水辺、生き物の生息場所などの自然的な環境と、景観や安全安心などの様々な環境を創り育てる

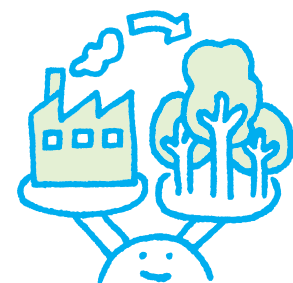
「花とみどり」に取り組む企業として、環境経営を進めるため新たに「環境方針」を定めました。

環境方針を事業活動に反映する事で、SDGsの達成に貢献します。

【5つの方針】

炭素中立 (カーボンニュートラル)

私たちは、「花とみどり」の持つ多面的な効用を最大限活用するとともに、事業活動によるCO₂排出量の削減を徹底することで、世界の2050年炭素中立目標に貢献します。



自然再興 (ネイチャーポジティブ)

私たちは、生物多様性の損失を止め、回復させる行動を推進するとともに、そこから得られた自然の価値を様々な人と共有して、人と自然が共生する社会の実現に貢献します。



循環経済 (サーキュラーエコノミー)

私たちは、「花とみどり」の空間をつくる資源である「水」「土」「木」を有効に利用するとともに、廃棄物の削減と適正な処理を徹底し、循環経済の実現に貢献します。



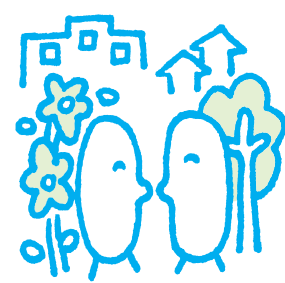
ウェルビーイング

私たちは、「花とみどり」が持つ心身を豊かにする力を引出すことにより、誰もがいきいきと暮らすことができるウェルビーイングな社会の実現に貢献します。



地方創生

私たちは、「花とみどり」を活かしたモノ・コトづくりを通じ、その土地の風土を的確に捉え、地域の人々とともに新たな価値を創造することで、持続可能な地域づくりに貢献します。



日比谷アメニスグループ これまでの環境への取り組み

1971年 — 1991年 — 2011年 — 2012年 — 2016年 —

● (株)日比谷花壇造園土木設立

株式会社日比谷花壇・造園土木部の事業拡大に伴い、この部門が分社化され、当社が誕生しました。

● 日比谷アメニス社名変更

AMENITY SCAPE CREATION
快適空間の創造

日比谷アメニスは、ここにやさしい環境を求めて、快適空間を創造し、ゆとりある社会の実現に向けて努めます。

● 当社初のCSRレポート発行



● コーポレートメッセージ策定

【コーポレート・メッセージ】



【3つのビジョン】

- ◎ 世界に誇れる「景色」をつくろう
- ◎ ところが響きあう「場」をはぐくもう
- ◎ 生命あふれる地球を未来にとどけよう

● CSR方針策定

日比谷アメニスグループでは、社会に貢献していくとともに、「日比谷アメニスグループらしさ」の醸成と企業の持続的成長につなげることを目指し、以下の2つのCSRに取り組むことを方針として定めています。

● 世界環境への取り組み SDGs発効



2018年 — 2023年 — これから —

● 環境宣言策定

環境に配慮した「5つの行動」に基づく活動に取り組むことを、「環境宣言」として策定し、経営方針として位置づけました。また、日比谷アメニスグループの仕事と関わりが深い「健康」「地域社会」「環境」という3つのテーマを中長期的な課題として決めました。

● 環境方針発表

環境宣言から5年、社会の動きに対応し、環境経営を進めるため、新たに「環境方針」を策定しました。策定された環境方針は、伊藤社長が社員に発表するとともに、コーポレートサイトやプレスリリースを通じて、社外のステークホルダーの皆さまにも広報されました。

● エコアクション21認証取得

エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムであり、日比谷アメニスグループは、その認証を取得しました。ガイドラインが規定する「環境経営システムの構築、運用、維持」「環境への取り組み」「環境コミュニケーション」を実施することで、環境経営を推進しています。



● 環境目標環境計画作成

環境方針を具体化するための目標を定め、これを達成するための計画も作成し、各種活動に取り組んでいきます。日比谷アメニスグループらしさを持った目標・計画としていき、関連するデータの集計・報告も行います。定めた目標・計画は適宜見直しを行い、常に時代の変化に対応できるようにしていきます。

